

- 問1 ナイル川の流域で栄えた古代エジプト文明では、農耕に大きな影響を与える川のはんらん時期を正確に知る必要がありました。そのために天文学が発達しましたが、その結果として作られ、現代の暦の基礎ともなったものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 農作業の記録をつけるために考案された、粘土板に刻む楔形文字
 2. 月の満ち欠けを基準とし、約29.5日を1か月とする太陰暦
 3. 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦
 4. 時間を60秒、60分で区切るなど、数え方の基礎となった60進法
- 問2 次のア～エに示す歴史的事象について、発生した年代の古い順に正しく並べたものはどれですか。
ア：渡来人によって須恵器の作製技術が伝えられた。 イ：聖武天皇の遺品などが正倉院に納められ、天平文化が栄えた。
ウ：足利義満によって明との間で勘合貿易が開始された。 エ：豊臣秀吉による朝鮮侵略の際、連れてこられた陶工により陶芸技術が広まった。
(2025年 岩手県公立入試 類似)
1. ア→ウ→イ→エ
 2. ア→イ→ウ→エ
 3. イ→ウ→ア→エ
 4. イ→ア→エ→ウ
- 問3 11世紀末、ローマ教皇の呼びかけに応じて組織された「十字軍」が、長期にわたって大規模な遠征を繰り返した主な目的として正しいものはどれですか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
1. 地中海周辺のキリスト教諸国を武力によって統一すること
 2. プロテスタントの勢力を抑えるために新航路を発見すること
 3. 聖地エルサレムをイスラム勢力の支配から奪還すること
 4. 免罪符（贖宥状）を販売するための新しい市場を開拓すること
- 問4 日本列島における旧石器時代の人々の生活や道具の特徴について、その背景を含めて説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。
(2023年 三重県公立入試 類似)
1. 大陸から伝わった稲作の技術により食料生産が安定し、収穫のために石包丁などの打製石器を用いた。
 2. ナウマンゾウやオオツノシカなどの大型の獲物を追って移動しながら生活し、狩猟や解体には打製石器を用いた。
 3. 弓矢を用いてシカやイノシシなどの足の速い小動物を狩り、表面を磨き上げた磨製石器を主な道具として用いた。
 4. 特定の場所に定住して竪穴住居を営み、食料を保存するために表面に縄目の文様をつけた土器を使用した。
- 問5 11世紀末、地中海の東岸に位置するパレスチナ地方の聖地エルサレムがイスラム勢力の支配下に入ったことを受け、ローマ教皇の呼びかけによって組織されたヨーロッパ諸国の軍隊の名称を選びなさい。 (2017年 三重県公立入試 類似)
1. ギルド
 2. 宗教改革
 3. 十字軍
 4. ルネサンス
- 問6 1949年、群馬県の岩宿遺跡において関東ローム層の中から打製石器が発見されたことにより、日本列島に存在したことが初めて証明された時代を何というか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 弥生時代
 2. 旧石器時代
 3. 新石器時代
 4. 縄文時代
- 問7 紀元前3世紀、中国を統一した秦の始皇帝が、それまで各地にあった壁をつなぎ合わせて大規模な建造物を整備した目的と、その付随する役割として適切なものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 国内の反乱を鎮圧するために兵士を常駐させ、物資の集積所とするため
 2. 洪水から耕地を守るための堤防とし、あわせて情報伝達のための駅伝制を敷くため
 3. 北方の遊牧民族の侵入を防ぎ、のろしを上げて敵の襲来を知らせるため
 4. 都である平城宮を囲い込み、南方の民族との交易を円滑にするため
- 問8 古代ギリシャの代表的なポリスであるアテネにおいて、成人男子の市民全員が参加し、多数決によって国の重要な方針を決定した最高議決機関を何と呼びますか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 帝国議会
 2. 三部会
 3. 元老院
 4. 民会
- 問9 紀元前2500年ごろからインダス川流域で栄えた古代文明では、石で作られた四角い印章に動物の図像とともに独自の文字が刻まれていました。この文字に関する説明として、他の文明の文字と比較した際の特徴を次の中から選びなさい。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
1. フェニキア人によって考案され、後のアルファベットの起源となった。
 2. エジプトの象形文字やメソポタミアのくさび形文字とは異なり、現在も解読されていない。
 3. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれた文字であり、現在の漢字の原型となった。
 4. 粘土板に刻まれることで記録が残り、現在ではその内容の多くが解明されている。
- 問10 古代ギリシャの都市国家（ポリス）について、代表的な都市の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. ローマ・カルタゴ
 2. メンフィス・テーベ
 3. アテネ・スパルタ
 4. 長安・洛陽
- 問11 宗教の歴史について、7世紀のアラビア半島を中心に興ったイスラム教の成り立ちとして最も適切な記述はどれか。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. インドの伝統的な信仰とアーリヤ人の宗教が結びついて成立した。
 2. パレスチナ地方でイエスが説いた教えを弟子たちが広めた。
 3. ムハンマドが唯一神アラーから受けた啓示に基づき創始した。
 4. シャカが修行を通じて、人間の苦しみを克服する教えを説いた。
- 問12 7世紀の世界のできごとを記した年表において、ムハンマドという人物がアラビア半島でおこしたとされる宗教について、その教義と聖典の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
1. 万物に神が宿ると考え、自然を崇拜し、特定の聖典を持たない。
 2. 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。
 3. 救世主としてのイエスを信じ、隣人愛を説き、『新約聖書』を聖典とする。
 4. 悟りを開くことで苦しみから解放されると説き、多くの『経典』を聖典とする。
- 問13 古代メソポタミアにおいて、粘土板に文字を刻んで情報を記録する仕組みが発達した背景として、当時の社会状況をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
1. 巨大な墳墓の壁面に、王の死後の世界を描いた物語を装飾として残す必要があったため
 2. 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため
 3. 亀の甲羅や動物の骨を焼き、そのひび割れの形から国の吉凶を占う儀式を重視したため
 4. 仏教の教えを周辺諸国に広めるため、持ち運びが可能な軽い素材に経典を記す必要があったため
- 問14 奈良の平城京にある東大寺の正倉院には、聖武天皇の遺愛品などが数多く納められています。その中にある「螺鈿紫檀五絃琵琶（らでんしたんのごげんびわ）」などの工芸品は、中央アジアや西アジアの影響を受けた国際色豊かなデザインが特徴です。これらの文物が唐の都である長安を経て日本へ伝わる際に通った、中国と西方を結ぶ陸上の交易路を何と呼びますか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. ステップの道（草原の道）
 2. シルクロード（絹の道）
 3. 海の道（香辛料の道）
 4. 茶馬古道

答え合わせ・解説

問1	答え 3 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦	エジプト文明は「ナイルのたまもの」と呼ばれるほど、川のはんらんがもたらす肥沃な土壌に依存していました。はんらんの周期を予測することは、農作業の計画を立てる上で国家の死活問題であったため、天文学が高度に発達し、太陽に基づいた暦が誕生しました。なお、太陰暦や60進法、楔形文字はメソポタミア文明の主要な特徴です。
問2	答え 2 ア→イ→ウ→エ	アの渡来人と須恵器は古墳時代、イの正倉院と天平文化は奈良時代、ウの勘合貿易は室町時代、エの朝鮮侵略と陶工は安土桃山時代の出来事です。したがって、年代の古い順に並べるとア（古墳時代）→イ（奈良時代）→ウ（室町時代）→エ（安土桃山時代）となります。
問3	答え 3 聖地エルサレムをイスラム勢力の支配から奪還すること	11世紀にイスラム勢力のセルジューク朝がキリスト教の聖地であるエルサレムを占領したことを受け、ローマ教皇ウルバヌス2世が奪還を呼びかけたことが始まりです。この遠征は約200年にわたって続けられ、ヨーロッパ社会の変化に大きな影響を与えました。
問4	答え 2 ナウマンゾウやオオツノシカなどの大型の獲物を追って移動しながら生活し、狩猟や解体には打製石器を用いた。	旧石器時代は氷河時代とも重なり、当時の人々は大型の動物を狩るために群れを追って移動を繰り返す生活を送っていました。そのため、獲物を仕留めたり解体したりするために、石を打ち欠いただけの鋭利な打製石器が活用されました。弓矢や定住生活、土器の使用は縄文時代、本格的な稲作や石包丁の使用は弥生時代の特徴であり、石包丁は磨製石器に分類されるため旧石器時代の説明としては誤りです。
問5	答え 3 十字軍	11世紀後半、セルジューク朝（イスラム勢力）がパレスチナ地方の聖地エルサレムを占領したため、ローマ教皇ウルバヌス2世がその奪還をヨーロッパの諸侯や騎士に呼びかけました。この呼びかけに応じて組織された軍隊を十字軍と呼び、13世紀後半まで断続的に遠征が行われました。
問6	答え 2 旧石器時代	かつて日本には土器の使用以前の文化は存在しないと考えられていましたが、相沢忠洋による岩宿遺跡での発見によって、土器を使用する前の「旧石器時代」の存在が明らかになりました。この時代の石器は、石を打ち欠いて作った打製石器が中心です。
問7	答え 3 北方の遊牧民族の侵入を防ぎ、のろしを上げて敵の襲来を知らせるため	秦の始皇帝は、中国を統一した後、北方から侵入してくる遊牧民族に備えるために万里の長城を整備しました。この建造物は軍事的な防衛ラインであると同時に、敵の姿を確認した際に火をたいて煙を上げる「のろし」によって、遠方の拠点へ迅速に情報を伝える通信網としての役割も果たしていました。選択肢にある「平城宮」は日本の奈良時代の都であり、時代も地域も異なります。
問8	答え 4 民会	アテネでは、王や一部の貴族ではなく、市民が自ら政治を行う「民主政」が発達しました。その中心的な役割を担ったのが「民会」です。市民はアゴラ（広場）などに集まり、対話や議論を通じて戦争の開始や法律の制定といった重要な決断を下しており、これは現代の議会政治のルーツの一つとされています。
問9	答え 2 エジプトの象形文字やメソポタミアのくさび形文字とは異なり、現在も解読されていない。	インダス川流域で栄えたインダス文明では、独自のインダス文字が使用されていました。この文字は印章などに刻まれて発見されていますが、ロゼッタ・ストーンのような解読の鍵となる資料が見つかっていないため、現在も解読には至っていません。これに対し、メソポタミア文明のくさび形文字や中国の甲骨文字（漢字の原型）などは解読が進んでいます。
問10	答え 3 アテネ・スパルタ	古代ギリシャには数百のポリスが存在していましたが、その中でも民主政を発達させたアテネと、強力な軍事教育で知られたスパルタは、ギリシャ世界を代表する二大ポリスとして歴史上重要な役割を果たしました。
問11	答え 3 ムハンマドが唯一神アラーから受けた啓示に基づき創始した。	アラビア半島のメッカに生まれたムハンマドが、唯一神アラーの啓示を受けて創始したのがイスラム教です。他の選択肢について、シャカは仏教、イエスはキリスト教、インドの伝統信仰との結びつきはヒンドゥー教の成り立ちを説明したものです。
問12	答え 2 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。	イスラム教は7世紀にムハンマドによって創始されました。唯一神アッラーを信じる一神教であり、その教えは聖典『コーラン』にまとめられています。教義の中では、信仰だけでなく、信者同士の連帯や助け合いといった社会的な実践（善行）も強く推奨されているのが特徴です。
問13	答え 2 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため	大きな河川の流域で農業が発展し、多くの人々が暮らす都市国家が形成されるようになると、蓄えられた余剰産物の管理や、遠方との交易の内容を正確に記録・保存する必要が生じました。文字は、複雑化した社会の運営や徴税を円滑に行うための実用的な統治ツールとして発明されました。
問14	答え 2 シルクロード（絹の道）	古代、中国（漢や唐の時代）と中央アジア、西アジアを結んだ陸上の交易路は「シルクロード（絹の道）」と呼ばれます。奈良時代の日本は遣唐使を通じて唐の文化を積極的に取り入れました。当時の唐は国際色が非常に強く、シルクロードを通じてもたらされた西方の楽器や装飾技術が日本にも伝来しました。その宝物が今も正倉院に保管されており、日本はシルクロードの東の終着点とも称されます。